

あなたと市政をつなぐ情報紙 無党派無所属

府中市議会議員／会派 市民の風

## ゆうきりょう

市政  
通信

毎日ブログ更新中

ゆうきりょう

電話 090-4136-7642



## 安全、安心な水を府中市民に！府中市、国、東京都にPFAS(有機フッ素化合物)の厳格な調査を求めたい…国がPFAS対策強化へ

1月31日付の朝日新聞1面、2面のトップで、「PFAS 国が対策強化へ」「健康への悪影響指摘」との記事が掲載されました。記事によるとこの間、米軍基地や工場周辺など各地で発生した有機フッ素化合物(PFAS)について、国が対策強化に乗り出すとし、海外の動向も参考に対策を講じるとあります。

## 国分寺市民への調査では基準値の約3.7倍にあたるPFOSが検出される

記事では多摩の市民団体が30日に記者会見を行い、多摩地域の浄水所や井戸水から基準値以上の有害物質、PFAS、PFOAが検出されたことをうけ、独自に調査を行った結果を公表。「多摩地域で採決希望者約600人を募り、87人分の結果を公表、うち国分寺市の65人で見ると、PFOSとPFOAが血液1ミリリットル中に含まれる量は平均22.8ナノグラムだった。調査方法が多少異なる可能性もあるが、環境省が21年に全国119人を対象に調べた際は平均6.1ナノグラムで、その約3.7倍にあたるという」とあります。

## 米軍横田基地との関係も噂されるPFOS、PFOA

この原因をめぐっては米軍の横田基地から「12年に同基地内で推定800ガロン(約3000リットル)の泡消火剤が漏出した記録がある」とし、米軍基地がある沖縄でも基準値を超えるPFOSが検出されていることを報じています。PFOS、PFOAとの関係性が指摘される

在日米軍基地ですが、記事によれば「日米地位協定が壁になり、米軍基地内への立ち入り調査ができない現状」とのことです。また米国内ではPFOSの汚染問題で集団訴訟も起こっているそうです。

## 府中市の武蔵台浄水所でもPFOSとの関係が指摘されていた

この問題については府中市内にある武蔵台浄水所からも、基準値を超えるPFOSが検出されたことが話題となり、市議会でも取り上げる議員さんもいました。私も2020年11月に市長あてに市として独自の調査、また国や都に強く調査を働きかけるよう、緊急要望書も提出した経過があります。

## 府中市議会でもこの問題で国、都への意見書が可決されていた

また府中市議会においても「水道水源井戸の有機フッ素化合物汚染の原因究明と汚染除去を求める意見書」が全会派一致で可決され、国や都に提出されています。今後府中市としても市民団体の方々などとも協力をして、PFOS、PFOAの原因調査と対策を講ずるべきです。

## ★府中市議会で可決された国へ「水道水源井戸の有機フッ素化合物汚染の原因究明と汚染除去を求める」意見書(2021年3月議会)

府中市議会は、政府および東京都に対し、次の事項について要望する。

- 1,有機フッ素化合物の汚染原因を究明し、情報を開示して汚染原因を解消すること。
- 2,PFOA,PFOSの活性炭による除去などの方法を確立すること。
- 3,PFOA,PFOSの規制に伴い、代替の有機フッ素化合物が使われていることから、PFHxSなどについても検査すること。

## ★ゆうきりょうが府中市長あてに提出した独自の要望書(2020年11月)

- 1,東京都水道局が行った武蔵台浄水所の水質調査について、再度、東京都に対し

て市に詳細の説明を求めること。

- 2,新聞記事にある、多摩地区の水道水の汚染源として横田基地の可能性が取りざたされていますが、同基地に対し原因究明調査に協力するよう国や都に要請すること
- 3,NPO団体「ダイオキシン・環境ホルモン対策国民会議」と協力、連携して市民の血中濃度検査を市としても独自に行い、結果を分析し市民に公表すること。
- 4,府中市内にある井戸水についても、市として調査を行うこと
- 5,国(環境省)、都に対し武蔵台浄水所の有害物質について、基準値を下回るよう早急に施策を講じるよう要望すること。

## シルバーパスを「ちゅうバス」に適用することは、自立する高齢者の生活支援になる！

市政通信2月号の「ちゅうバスにシルバーパスの適用を」の記事をご覧になった市民の方から、下記の投稿をいただきましたので紹介させていただきます。

## 高齢者が「目と鼻の先」の距離でもバスを利用しなければならない現実

先日、「ちゅうバス」に乗る機会があり、府中駅から四谷循環のルートの「ちゅうバス」に乗りました。中河原駅のひとつ手前の住吉保育所前のバス停から、杖をついたおばあちゃんが乗り込んできました。乗るのにもしんどそうでしたが、100円を料金箱に投入し、近い椅子に座りました。座ってすぐに降車ボタンを押しました。ということは中河原駅で降りるからに他なりません。直線距離にして500メートルほどです。

何を言わんかという、足が不自由でもなんとか自立しようと生活している高齢者が目と鼻の先の距離でもバスを利用しなければならない現実

があるのです。そのつど100円、往復200円の負担を余儀なくされている現実です。涙が出ました。人に迷惑をかけぬよう自立をしようと懸命に生きている高齢者の生活に負担を強いている、シルバーパスに理解のない市政の情のなさに怒りを覚えます。この情景を行政は眼をそらせているのでしょうか。市民のための行政は何処に？

私がこのようなことから言わんとすることは、シルバーパスを「ちゅうバス」に適用することが、広い意味で自立する高齢者の生活支援であるということです。自分で動ける喜びを支援してあげたいものです。(以上、市民の方の投稿より)



## 府中市議会議員 ゆうきりょう(結城 亮) プロフィール

昭和45年(1970年)5月11日生、52歳。横浜市青葉区出身、大東文化大学法学部卒、東京土建府中国立支部事務局などの仕事を経て、2014年12月衆議院議員の総選挙に立候補(東京18区)、落選。2015年4月から府中市議会議員(現在、2期目)。所属する委員会は、建設環境委員会、新市庁舎建設特別委員会など。現在は無所属で「市民の風」に所属。

※住所・府中市紅葉丘2-6-3、メイプルタウン吉野D202

# 府中市の公立保育所で不適切保育の事案が発生！

府中市の発表によると、昨年12月12日に、市立中央保育所の5歳児クラスにおいて、市職員の保育士が児童の頬を叩く事案が発生したことを伝えています。府中市ではこの案件に関して、市立中央保育所をご利用されている保護者の皆様を対象に、1月11日、12日、13日に説明会を開催し、この事案の状況と今後の再発防止策について説明したとのことです。今回の件を教訓に府中市では、不適切な保育の再発防止に向けて、市立保育所全体で次の7つの取組を実施するとしています。

## 府中市が公立保育所に再発防止のために、7つの取組を発表

- (1)市立保育所の所長を中心としたプロジェクトチームを立ち上げ、再発防止に向けた具体的な取組を検討するとともに、安全・安心な保育を継続して実践するための体制を構築する。
- (2)保育の質の確保及び向上を図ることを目的とした「府中市立保育所自己評価マニュアル」について、抜本的な見直しを行う。
- (3)自らの保育を振り返り、保育の改善や充実を図るため、自己評価チェックシートを用いて行う自己評価を年2回実施し、その結果を公表する。
- (4)子どもの人権を尊重する保育や怒りの感情を制御するためのアンガーマネジメントなど、不適切な保育の再発防止につながる職場内研修を計画的に実施する。
- (5)各保育所において定期的にグループワーク等を実施し、日々の保育の振り返りを行う中で気が付いた点など職員間で対話し、共有し合える場を設ける。
- (6)保育所の所長経験者である巡回支援員が各保育所を定期的に巡回し、より良い保育の実践につながる相談や支援を行う。
- (7)保護者又は職員が不適切な保育と思われる行為を把握した際に、適切な対応が講じられるよう、相談窓口を整えて周知する。

## 保育士さんを採用する段階で、その人のすべてを見抜くことは難しい

～今回の中央保育所で発生した不適切保育の件を受け、府中市がHP

で経過を公開し、今後の対策について具体的な方針を発表したことは、評価できるものです。1月21日付の朝日新聞に、板橋区内で認可保育園を運営する園長さんのインタビュー記事が掲載されていますが、不適切保育が発生した際の対応として、

①不適切な保育の指摘を受けた場合は、「どんな理由でもその行為は即時に中止する」と決めている、②各保育施設の園長らが問題を隠蔽するような行為をした場合は「自治体に通報しなければならない」としているなどを、この保育園のガイドラインでは明文化しているとのことです。

この園長さんは記事の最後に「保育士として働きたい人を採用する段階で、その人の特性や保育観のすべてを見抜くことは正直難しい」とし、「だからこそ日頃の園の運営のあり方を整え、虐待などの不適切な保育を防ぐ仕組みを何重にも考えなくてはならない」という言葉が、印象的でした。ぜひ府中市においても今回の件を教訓にして、市内にある私立の認可保育所、認証保育所、認可外保育所などについても、同様の対策を早急に行うよう、市に対して求めます。(ゆうきりょう)



## 京王電鉄バス本社に北西部、南西部地域の本数増加で要望

市内の京王バスの便について、京王電鉄バス本社に赴いて要望書を提出してきました。市内の北東地域、南西部地域のバスの本数の件でサービス向上のために本数の増加について要望しました。もっと「住みよい」府中の街のためにも、少しでも前進するよう取り組んでいきます。

1. 多磨駅から調布駅までの京王バスも1時間に2本から1本に減便され、

不便を感じておられる住民の方が多数います。ぜひこの際、同路線のバスの増発についてもご検討いただくことを要望させていただきます。

2. 市内西南部の日新町、四谷地域から京王線中河原駅に行くバスの本数について、午前9時～午後4時までのバスの便を増発いただけるよう要望させていただきます。

## 府中市役所にひとこと言いたい！ 府中市役所窓口に「おくやみ窓口」の設置を！…器(府中市役所)の建物も新しくなるなら、中身(市民向けサービス)も新しいものにしてほしい…(市民の声)

先日、市民の方から「府中市役所内に『おくやみ窓口』の設置を要望するために、市長への手紙を書いたところ返事がきましたが、『おくやみ窓口の設置は考えていない』という内容でした。せっかく府中市役所の建物も新しくなるのだから、市民向けのサービスもこの際ぜひ新しいものにしてほしいです」というお声をいただきました。(市民の方の声より)

### 隣の三鷹市には「おくやみ窓口」を設置

これは大変もったいなお声です。「おくやみ窓口」とは、「死亡に関連する市役所での手続きを行う遺族の負担を軽減し、必要な手続きを不備なく効率的に進めることができる窓口のこと。近隣では三鷹市役所が「おくやみ窓口」を設置、市のHPでは「遺族が抱える『未来への不確かさ』による不安な『おもし』に寄り添う

ことで、『遺族の不安を解消し、未来へ繋げる』窓口サービスを目指します」とあります。三鷹市役所のHPによると「おくやみ窓口の特徴」①ワンストップ窓口 1つの窓口で市役所の各種手続きが可能、②書かない窓口 申請書類に必要な情報を予め印字します、③待たない窓口 予約制のためお待たせせずにご案内できるとあります。



## 府中市内の木造地域にも感震ブレーカーが、東京都から無料配布されます

1月12日付産経新聞に東京都の小池知事が来年度予算案のなかで、防災力強化のために木造住宅密集地域の計32万世帯に対し、地震を感知して電気の通電を遮断する機器「感震ブレーカー」を無料配布する計画であることを明らかにしたと報じています。記事によると、機器は1つ5千円程度、予算案に約20億円を計上、令和5年度中の配布完了をめざすとしています。



ゆうきりょうの「コーヒーブレイク」 .....

### 朝の駅頭稽古

朝の駅頭でのあいさつで、市政通信を毎週、内容を変えて配布、朝5時から8時までいます。朝の6時30分くらいから寒さがきつくなります。一方でポケットから手を出して、ニュースを受け取っていただける方がいるのは、本当に嬉しいものです。これからも「朝の駅頭稽古」を続ける決意です。



## 朝の駅頭市政報告について

私の朝の駅頭あいさつについて、原則、毎朝下記の予定で行っています。駅頭では「市政通信」を配布し市政相談、生活相談なども受け付けています。なお雨天時や、自身の都合により中止の場合もあります。お気軽にお声をおかけください。月曜日・西武線多磨駅東口、火曜日・京王線多磨霊園駅南口、または東府中駅南口、水曜日・京王線東府中駅北口、木曜日・西武線多磨駅西口、金曜日・京王線多磨霊園北口 ※アドレス yuki4551@ozio.jp